

学 習 指 導 案

日時	12/4 2限	学校名	高等学校(全定通)		氏名
科目名	機械工作	領域名	非金属材料	使用教科書	機械工作1/実教出版
領域の内容	非金属 1プラスチック			単元計画	3時間中の1時間目
単元	プラスチックの生成			学年・組・男女・人数	1年K2組 男28名
本時の目標 (生徒の目指す姿)	(1) 非金属について知ろう				
授業に必要な用具など	教科書、ノート、タブレット(メタモジ)				
時間	学習内容及び学習活動				指導上の工夫、評価の観点と方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの道具(スプーン)で素材の違いについて考えさせる。 ○それぞれの素材のメリット、デメリットをまず自分で考えてメタモジに記入する。 ・各生徒の回答を紹介しながら、使用面だけでなく加工面で考える力を付けるように促す。 				
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標と授業内容を説明。 ○本時の目標をノートに記入する。 ○プラスチックが日常のどこに使われているか考えられるだけメタモジに書き出す。 ・プラスチックがどういうものなのか説明する。 ○プラスチックについてノートを記入する。 ・特殊なプラスチック(工業用)について説明する。 ○特殊プラについてノートを記入する。 ・特殊プラが機械と人の安全を担っていることを説明し、実際にどういった事故が起きるのか動画を見せて理解する。 ・プラスチックの名前や区分について説明する。 ○各プラスチックの名前と区分の表をノートに記入する。 ・プラスチックの利点について考えさせる。 ○プラの利点を個人で考えメタモジに記入する。 ・生徒の意見を反映しながら、利点を挙げる。 ・プラの欠点について考えさせる。 ○プラの欠点を記入し、どうすれば解決できるか個人で考えさせメタモジに記入させる。 ○メタモジを利用してグループで欠点の解消を考え発表させる。(グループ) ・生徒の意見を反映させながら欠点について説明 ○プラの利点と欠点をノートに記入 ・欠点の解消法(現代)の説明を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ・日常の道具が何で使われているのか、なぜその材質なのかを考える。(知識・理解) ・特殊なプラスチックがあり、日常で使われているものとの違いを理解する。(意欲・態度) ・プラスチックの種類について知る。(知識・理解) ・材料の特徴を理解し、その特性に対してどのように改善するか考える。(意欲・態度) ・自分の考えだけでなく周りの意見を聞き取り入れる(意欲・態度) ・実際に行われている改善方法などを知る(知識・理解)
まとめ 5分	○本時の学んだ内容を自分なりに理解できたかメタモジにてルーブリックアンケートに答える。				○本時の授業内容の理解度を確認する。(意欲・態度・知識・理解)